

# マイクロハイファイ コンポーネントシステム

## 取扱説明書 CMT-V3

お買い上げいただきありがとうございます。



**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。





## 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることもあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



### 安全のための注意事項を守る

以下の注意事項をよくお読みください。

### 定期的に点検する

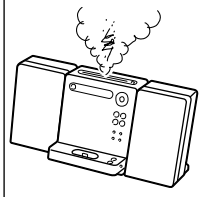
設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほころぎがたまっていないか、電源プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

### 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口にて修理をご依頼ください。

### 万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 電源を切る。
- ② 電源プラグをコンセントから抜く。
- ③ お買い上げ店またはソニーの相談窓口にて修理を依頼する。

### 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

### 注意を促す記号



火災



感電



指のケガに  
注意

### 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

### 行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く

# 目次

<b>⚠ 警告</b> 安全のために .....	2
各部の名前と働き .....	11

## 準備

接続する .....	16
時計を合わせる .....	19

## 操作

CD/MP3ディスクを 再生する .....	20
ラジオを聞く .....	22
“ウォークマン”ご利用の 前に .....	23
“ウォークマン”に録音する .....	24
“ウォークマン”の曲を聞く .....	27
好きな順に曲を聞く (プログラム再生) .....	29
外部機器を接続して聞く .....	30
好みの音に変える .....	30
画面の表示を切り換える .....	31
タイマーを使う .....	32

## 使用上のご注意・主な仕様

使用上のご注意 .....	34
故障かな?と思ったら .....	36
メッセージ一覧 .....	42
保証書とアフターサービス .....	44
主な仕様 .....	45



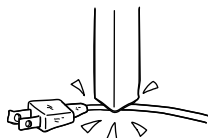
下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

### 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 設置時に、製品と壁や棚との間にはさみ込みすぎない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

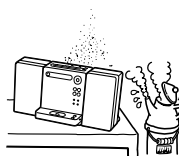
万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。



禁止

### 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場などでは絶対に使用しないでください。

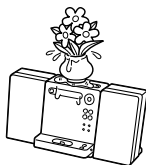


禁止

### 内部に水や異物が入らないようにする

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。

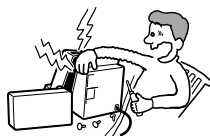
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。



禁止

### キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。



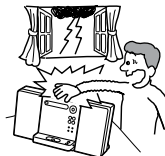
分解禁止



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

### 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない

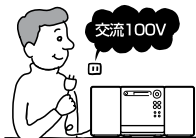
本機やアンテナ線、電源プラグなどに触れると感電の原因となります。



接触禁止

### 本機を日本国外で使わない

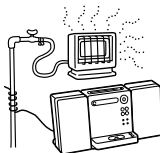
交流100Vの電源でお使いください。海外など、異なる電源電圧の地域で使用すると、火災・感電の原因となります。



指示

### ガス管にアンテナ線をつながない

火災や爆発の原因となります。



禁止



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

### ぬれた手で電源プラグにさわらない

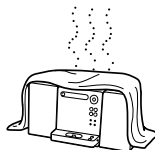
感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

### 風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



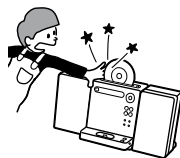
禁止



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

### 幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようご注意ください。



### 大音量で長時間つけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くとときにご注意ください。

呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。



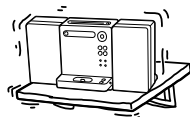
### はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。特に、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くとときにはご注意ください。



### 安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。



### 電源プラグは抜き差ししやすい

#### コンセントに接続する

異常が起きた場合にプラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるように、電源プラグは容易に手の届くコンセントにつないでください。

通常、本機の電源スイッチを切っただけでは、完全に電源から切り離されません。





下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

### コード類は正しく配置する

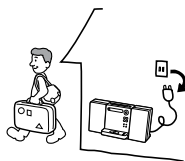
本機に取り付ける電源コードやAVケーブルは、足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。十分に注意して接続、配置してください。



禁止

### 長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

### お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

電池についての  
安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による  
大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ず  
お守りください。

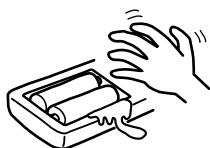
 危険

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない



接触禁止



電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液の化学変化により、数時間たってから症状が現れることもあります。

必ず次の処理をする



指示



- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

 警告

電池は乳幼児の手の届かない所に置く



禁止



電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

電池を火の中に入れてない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない



禁止



破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

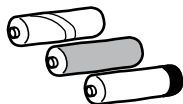


---

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない



禁止



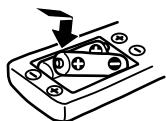
電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

---

＋と－の向きを正しく入れる



指示



＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

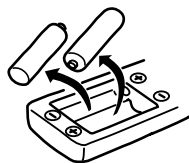
機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

---

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す



指示



電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

## 録音についてのご注意

- 大切な録音の場合は、必ず事前のために録りをし、正常に録音されていることを確認してください。
- 本機を使用中、万が一不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

## ステレオを聞くときのエチケット



ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。

窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件にしたがって修理を致します。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、録音、再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## CD再生時のご注意

本製品は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生・録音できない場合があります。

## DualDiscについてのご注意

DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。なお、この音楽専用面はコンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

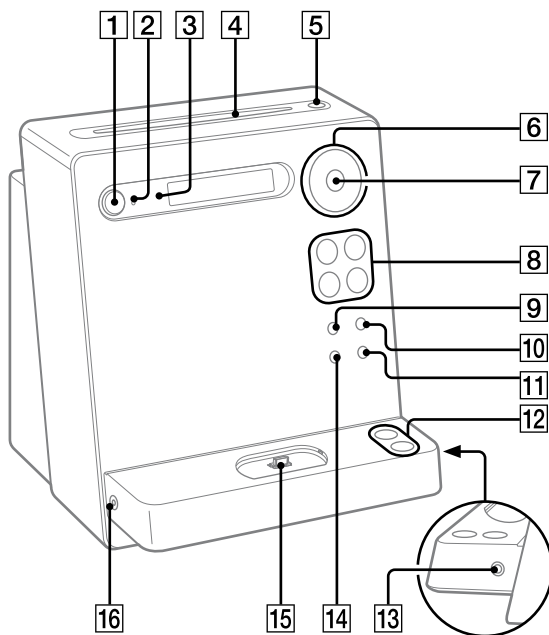
## 商標について

- “ウォークマン”、“WALKMAN”、“WALKMAN”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetoothワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、ソニー株式会社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については個々の所有者に帰属するものとします。

## 各部の名前と働き

本書では、リモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。リモコンと同じ名前の本体のボタンは、同じ働きをします。

### 本体



次のページにつづく ➤

1

**I/⏻(電源)ボタン(19、32ページ)**  
本機の電源を入/切します。

2

スタンバイ  
**STANDBYランプ(電源ランプ)**  
(31、37ページ)  
本機の電源が切れているときに点灯します。

3

**リモコン受光部(37ページ)**

4

**ディスクスロット**

5

**▲(イジェクト)ボタン**  
ディスクを取り出します。

6

**📁 +/- ボタン(20、25、29ページ)**  
フォルダ(アルバム)を選択します。

チューン  
**TUNE +/- (選局)ボタン(22ページ)**  
聞きたいラジオ局の周波数に合わせます。

**⏮/⏪/⏩/⏭ ボタン(20、25、28、29ページ)**  
曲の頭出しをします。

**⏮/⏭ ボタン(20、28ページ)**  
曲の早戻しや早送りをします。

7

**ENTERボタン(19、22、24、26、29、32、33ページ)**  
操作や設定を決定します。

8

**▷⏮ (再生/一時停止)ボタン**  
(20、25、27、28ページ)  
CDやMP3ディスク、本機に接続した“ウォークマン”の曲を再生したり、一時停止します。

**□ (停止)ボタン(20、25、28ページ)**  
CDやMP3ディスク、本機に接続した“ウォークマン”の曲の再生を停止します。  
“ウォークマン”への録音を停止します。

**FUNCTION +/- ボタン(20、22、24、25、27、29、30ページ)**  
ファンクションを切り換えます。

9

**ERASEボタン(25、26ページ)**  
本機に接続した“ウォークマン”の曲やフォルダの削除を開始します。削除の操作中に押した場合は、削除の中止、削除の終了となります。

10

**REC CD → WALKMANボタン**  
(24、25ページ)  
本機に接続した“ウォークマン”へCDやMP3ディスクの曲を録音します。

11

ディレイエフェクト  
**DSGXボタン(30ページ)**  
サウンド効果を選択します。

12

**VOLUME +/- ボタン**

音量を調節します。

13

**AUDIO IN 端子**

別売りの外部入力機器を本機に接続します。

14

**EQ ボタンイコライザ(30 ページ)**

あらかじめ登録されている音質に切り換えます。

15

**WM-PORT コネクター (ウォークマン接続端子)(24、25、27 ページ)**

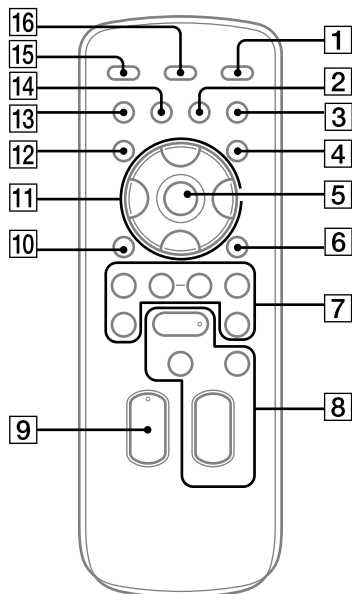
別売りの“ウォークマン”を接続します。

16

**PHONES (ヘッドホン端子)**

別売りのヘッドホンを接続します。

## リモコン



**1**  
**I/O (電源) ボタン(19、32ページ)**  
本機の電源を入/切します。

**2**  
**CLEAR ボタン(29ページ)**  
プログラムした曲をプログラムから消します。

**3**  
イコライザー  
**EQ ボタン(30ページ)**  
あらかじめ登録されている音質に切り換えます。

**4**  
タイマー  
**TIMER MENU ボタン(19、32、33ページ)**  
時計や再生タイマーを設定します。

**5**  
**⊕ (決定) ボタン(19、22、24、26、29、32、33ページ)**  
操作や設定を決定します。

**6**  
ツール  
**TOOL MENU ボタン(25、26ページ)**  
本機に接続した“ウォークマン”の曲やフォルダの削除を開始します。削除の操作中に押した場合は、削除の中止、削除の終了となります。

**7**  
**+/- (選局) ボタン(22ページ)**  
聞きたいラジオ局の周波数に合わせます。

**⏪/⏩ ボタン(20、25、28、29ページ)**  
曲の頭出しをします。

**📁 +/- ボタン(20、25、29ページ)**  
フォルダ(アルバム)を選択します。

**⏪/⏩ ボタン(20、28ページ)**  
曲の早戻しや早送りをします。

**8**  
**▶ (再生) ボタン(20、25、27、29ページ)**  
CDやMP3ディスク、本機に接続した“ウォークマン”の曲を再生します。

**■ (一時停止)ボタン(20、25、28ページ)**

CDやMP3ディスク、本機に接続した“ウォークマン”の曲を一時停止します。

**■ (停止)ボタン(20、25、28ページ)**

CDやMP3ディスク、本機に接続した“ウォークマン”の曲の再生を停止します。  
“ウォークマン”への録音を停止します。

**FUNCTION +/-ボタン(20、22、24、25、27、29、30ページ)**  
ファンクションを切り換えます。**9****VOLUME +/-ボタン**

音量を調節します。

**10****↶ RETURNボタン(26ページ)**

“ウォークマン”の曲やフォルダの削除の操作中に削除を中止したり、終了します。

削除実行前の確認メッセージ表示中に押した場合は、削除対象(曲またはフォルダ)の現在の選択状態の表示に戻ります。

**11****↕/↔/↔/↔ボタン(19、28、32、33ページ)**

項目を選択したり、設定を変更します。  
“ウォークマン”の操作のときは、  
↕/↔ボタンでフォルダをスキップすることができます。

**12****TUNER MEMORYボタン(22ページ)**

ラジオ局をプリセット登録します。

**13****PLAY MODE/TUNING MODEボタン(21、22、25、29ページ)**

ディスクの再生モード(再生のしかた)を選択します。  
ラジオ局の選局モードを切り換えます。

**14****REPEAT/FM MODEボタン(21、22ページ)**

曲を繰り返し聞くとときに使います。  
FM放送のステレオ受信、モノラル受信を切り換えます。

**15****SLEEPボタン(32ページ)**

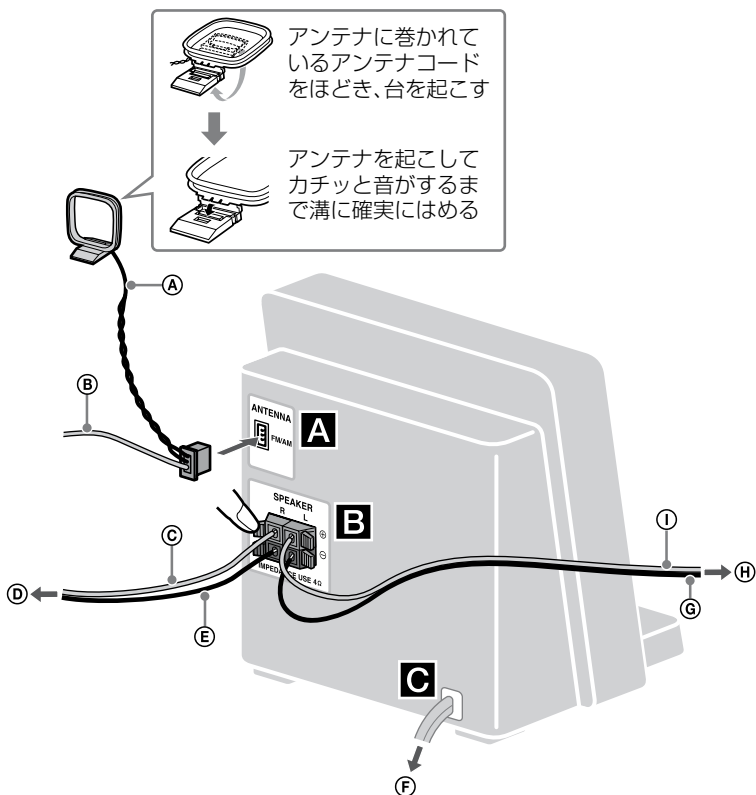
スリープタイマーを設定します。

**16****DISPLAYボタン(29、31ページ)**

表示窓に表示される内容を切り換えます。

## 準備

## 接続する





## A アンテナ (ANTENNA)

アンテナを接続しないとラジオ放送を受信できません。

受信状態の良い場所や方向を探して設置してください。

雑音の原因になるため、AMループアンテナは本体やスピーカーコード、他のAV機器から離してください。

FMアンテナは、先端をテープなどで固定してください。

## B スピーカー (SPEAKER)

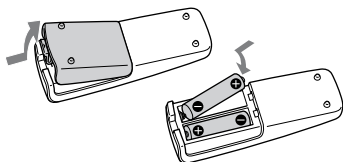
スピーカーコード先端のむき出してある部分を、奥までしっかりと挿し込んでください。

## C 電源

すべての機器を接続したあと、本機の電源コードをコンセントにつないでください。

## リモコンに電池を入れる

⊕と⊖の向きを合わせて、リモコンに単3形乾電池(R6、付属) 2個を入れます。イラストのように⊖極側から入れます。



### ご注意

- 電池の使いかたを誤ると、液漏れや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。
  - ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
  - 新しい電池と使った電池、または種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
  - 電池は充電しないでください。
  - 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出してください。
  - 液漏れしたときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにしてください。リモコンで操作できないことがあります。
- 電池の交換時期は約6か月です。リモコンを本体に近づけないと操作しづらくなったら、2個とも新しい電池に交換してください。

次のページにつづく ➤

## “ウォークマン”を本機に接続するには

本機のWM-PORTに、付属の“ウォークマン”用アタッチメント(タイプAまたはタイプB)を取り付けて、WM-PORT搭載の“ウォークマン”を接続して使うことができます。

### “ウォークマン”用アタッチメント対応機種

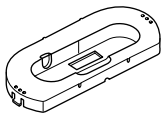
“ウォークマン”を本機に接続する際は、お使いの“ウォークマン”に対応するアタッチメントをWM-PORTに装着してください。

アタッチメントのタイプは、それぞれのアタッチメントの裏側の刻印(AまたはB)で確認できます。

なお、以下に記載のない新機種を本機でご利用の場合は、“ウォークマン”に付属のアタッチメントをお使いください。

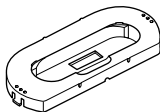
### タイプ A アタッチメントと対応シリーズ

NW-A820シリーズ、NW-A800シリーズ、NW-S740Kシリーズ、NW-S740シリーズ、NW-S730FKシリーズ、NW-S730Fシリーズ、NW-S640Kシリーズ、NW-S640シリーズ、NW-S630FKシリーズ、NW-S630Fシリーズ



### タイプ B アタッチメントと対応シリーズ

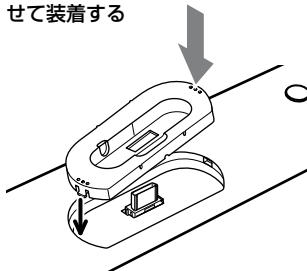
NW-X1000シリーズ、NW-A910シリーズ、NW-S710Fシリーズ、NW-S610Fシリーズ



### “ウォークマン”用アタッチメントを装着する。

以下のアタッチメント装着の手順は、タイプAのアタッチメントを例としています。

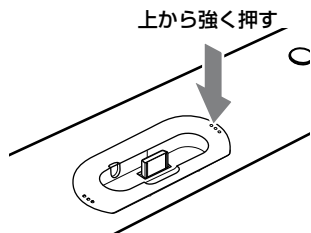
WM-PORT内側の穴にアタッチメントのツメを合わせて装着する



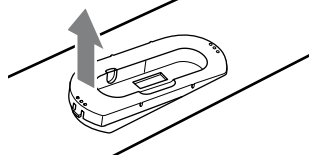
## アタッチメントの取りはずし方について

アタッチメントの「○○」部分(左端または右端)を上から押して、反対側の端を浮き上がらせて取りはずしてください。

以下のアタッチメント取りはずしの手順は、タイプAのアタッチメントを例としています。



反対側の端が浮き上がったしたら、アタッチメントをつまんで本機から取りはずす



## 時計を合わせる

リモコンのボタンを使って時計を合わせます。

- 1 I/O (電源)ボタンを押して、電源を入れる。
- 2 TIMER MENUボタンを押す。「PLAY SET」が点滅するときには、▲/▼ボタンを繰り返し押し続けて「CLOCK」を選び、⊕ボタンを押してください。
- 3 ▲/▼ボタンを繰り返し押し続けて「時」を合わせ、⊕ボタンを押す。
- 4 「時」と同じ手順で「分」を合わせる。

### ご注意

停電になったり、電源コードを抜くと時計設定は解除されます。

### 電源が切れているときに時計を確認するには

DISPLAYボタンを押すと、約8秒間時計が表示されます。

## 操作

# CD/MP3ディスクを再生する

- 1 FUNCTION +/- ボタンを繰り返し押し、CDファンクションを選ぶ。
- 2 ラベル面を手前にして、ディスクをディスクスロットにセットする。



### ご注意

- 本機の電源を入れた直後は、表示窓に「NO DISC」が表示されるまで、ディスクはディスクスロット内部に引き込まれません。「NO DISC」が表示されていない状態で、無理にディスクをスロットに挿入しないでください。
- 特殊な形状(ハート型、カード型、星型など)のディスクを挿入しないでください。内部でディスクが落ち込み、修復不能な損傷を本機に与えるおそれがあります。
- ディスクを挿入し直すときは、いったんディスクを持ち上げて完全に取り出してからセットし直してください。▲ボタンを押してディスクが排出された状態のまま、ディスクを押し込まないでください。

- ディスクをディスクスロットに挿したままの状態、本機の電源を切らないでください。ディスクを落として傷つけるなどの原因になります。
- テープやシールの貼られたディスク、接着剤ののりが付着したディスクなどは、故障するおそれがあるため、本機では使わないでください。
- ディスクを取り出すときは、記録面に触れないようご注意ください。
- 本機の電源が切れているときは、ディスクをディスクスロットに押し込むなど、無理にディスクを挿入しようとししないでください。故障するおそれがあります。
- 変換アダプターを使用して標準サイズにした8cmディスクは、本機の故障の原因となるためお使いになれません。

- 3 ▶ ボタン(本体では▷⏮ボタン)を押して、再生を開始する。

## その他の操作

### こんなときは 操作

一時停止する ■▶ ボタン(本体では▷⏮ボタン)を押す。  
もう一度押すと再生を再開します。

再生を止める ■▶ ボタン(本体では□ボタン)を押す。

MP3ディスク内のフォルダを選ぶ ◻ +/- ボタンを繰り返し押し。

CDやMP3ディスクの曲を選ぶ ◀▶▶▶ ボタン(本体では◀◀◀▶▶▶▶ ボタン)を押す。

曲中の聞きたい部分を探す 再生中に◀◀▶▶▶▶ ボタンを押し続け、聞きたいところで指を離す。

**こんなときは 操作**

曲を繰り返し聞くと REPEATボタンを繰り返し押し、**「REP」**(全曲リピート再生) または**「REP1」**(1曲リピート再生)を点灯させる。

ディスクを取り出す 本体の**▲**ボタンを押す。

**再生モードを変えるには**

ディスクの停止中にPLAY MODEボタンを繰り返し押し、再生モードを切り換えます。再生モードは、以下のとおり切り換わります。

ノーマル再生(「**□**」点灯\*) → シャッフル再生(「**SHUF**」または「**□ SHUF**」点灯) → プログラム再生(「**PGM**」点灯)

\* MP3ディスク内の特定のフォルダ(アルバム)を再生対象にしているときは、「**□**」が点灯し、フォルダ内の全曲が順に再生されます。CD(CD-DAディスク)が再生対象のときは、ノーマル再生となります。

**リピート再生についてのご注意**

- 「REP」は再生中のディスクの全曲を5回まで繰り返し再生します。
- 「REP1」は、再生を停止するまで再生中の1曲だけを繰り返し再生します。

**シャッフル再生についてのご注意**

本機の電源を切ると、選択していたシャッフル再生モード(「**SHUF**」または「**□ SHUF**」)はリセットされ、ノーマル再生(「**□**」)モードとなります。

**MP3ディスクについてのご注意**

- MP3ディスク作成の際には、不要なフォルダやファイルをMP3ファイルといっしょに記録しないでください。
- フォルダ内にMP3ファイルが存在しない場合は、次の再生可能なMP3ファイルへ再生がスキップします。
- 曲の再生は、MP3ディスク作成時の記録順(MP3ファイルのディスクへの記録の順番)となります。
- ファイル名に「.mp3」の拡張子を持つオーディオファイルのみが再生対象となります。
- ファイル名に「.mp3」の拡張子を持っていても、MP3形式のオーディオファイルでない場合には再生されません。このようなファイルの再生は、大音量のノイズとなり、スピーカーや本機の故障の原因となることがあります。
- MP3ディスクに対する本機の上限は次のとおりです。
  - 最大フォルダ数：150 (ルートフォルダ含む)
  - 最大ファイル数：255
  - 認識可能なファイルとフォルダの総数：256
  - 認識可能な最大階層(フォルダ)レベル：8
- 本機は、エンコードソフトウェアや書き込み用ソフトウェア、CD-R/RWドライブ、使用メディアなど、MP3ディスクの作成に必要な機器やソフトウェアのすべてを保証するものではありません。作成したMP3ディスクが本機での再生に適さない場合、ノイズが再生される、再生が途切れる、まったく再生されないなど、不具合が発生するおそれがあります。

**マルチセッションディスクについてのご注意**

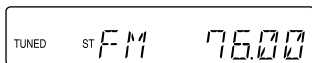
- マルチセッション形式で記録されたCD、MP3ディスクは、最初のセッションしか再生できません。
- MixCD規格のディスクは、本機ではCD-DAディスクとして認識されます。

# ラジオを聞く

- 1 FUNCTION +/- ボタンを繰り返し押し、[TUNER FM] または [TUNER AM] を選ぶ。
- 2 周波数を合わせる。

## オートチューニング(自動受信)の場合

TUNING MODE ボタンを繰り返し押し、[AUTO] を表示させ、 +/- ボタン(本体では TUNE +/- ボタン) を押したままにし、表示窓の周波数表示の数字が動き始めたら指を離します。ラジオ局を受信すると自動的に止まり、[TUNED] (受信中) と [ST] (FMステレオ放送のときのみ) が点灯します。



[TUNED] が点灯せずラジオ局を受信できなかったときは、■ ボタン(本体では口ボタン) を押し、以下の「マニュアルチューニング(手動受信)の場合」の手順に従って周波数を合わせてください。

## マニュアルチューニング(手動受信)の場合

TUNING MODE ボタンを繰り返し押し、[MANUAL] を表示させ、 +/- ボタン(本体では TUNE +/- ボタン) を繰り返し押し、聞きたいラジオ局の周波数に合せます。

## ちょっと一言

FMステレオ放送の受信中に雑音が多いときは、FM MODE ボタンを繰り返し押し、[MONO] を点灯させ、モノラル受信に切り換えてください。雑音を低減できます。

# ラジオ局を登録する

リモコンのボタンを使ってラジオ局を登録します。

- 1 登録したいラジオ局を受信する。
- 2 TUNER MEMORY ボタンを押す。

プリセット番号



- 3 +/- ボタンを繰り返し押し、プリセット番号を選ぶ。

すでに登録済みのプリセット番号を選んだ場合は、新たに受信しているラジオ局の登録に置き換わります。

- 4 ⊕ ボタンを押して、登録を決定する。

- 5 手順1～4を繰り返して他のラジオ局を登録する。

FM放送は20局まで、AM放送は10局まで登録することができます。停電になったり、電源コードを抜いても、登録されたラジオ局は約半日保存されます。

## 登録したラジオ局を聞くには

TUNING MODE ボタンを繰り返し押し、[PRESET] を表示させ、 +/- ボタンを押して、聞きたいラジオ局のプリセット番号を選びます。

## “ウォークマン” ご利用の前に

対応機種以外の“ウォークマン”は使用しないでください。対応機種以外の機種の動作は保証しておりません。“ウォークマン”の対応機種については、下記ホームページの機種別サポートをご覧ください。

<http://www.sony.co.jp/netjuke-support/>

### ご注意

- 本機が対応する“ウォークマン”には、本機での再生のみに対応する機種と、再生／録音／曲およびフォルダの削除に対応する機種があります。再生のみに対応する“ウォークマン”をお使いの場合、本機での録音、“ウォークマン”の曲、フォルダの削除はできません。
- “ウォークマン”をフォーマットするときは、“ウォークマン”本体の機能(メモリーの初期化機能)を使ってフォーマットしてください。他の方法でフォーマットした場合、本機からの録音が行えないなどの不具合が発生するおそれがあります。詳しくは、“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。
- 本機は“ウォークマン”の動作のすべてを保証するものではありません。
- 本機に“ウォークマン”を接続するときは、「データベース作成中」の表示が“ウォークマン”の表示窓から消えていることを確認してから接続してください。
- 録音中や削除中に、本機から“ウォークマン”をはずさないでください。“ウォークマン”のデータが破損したり、“ウォークマン”本体が故障するおそれがあります。
- 本機に“ウォークマン”を接続すると、“ウォークマン”の全データの読み込みが行われます。“ウォークマン”に多数のフォルダやオーディオファイルがあると、読み込み終了までに時間がかかる場合があります。

- お使いの“ウォークマン”の機種によっては、本機の操作に対する反応が遅れる場合があります。
- 次のケースでは、再生や録音ができません。
  - － フォルダあたりのファイル数が999を超えた場合
  - － ファイル数(MP3、WMAまたはAAC形式のファイルの総数)が999を超えた場合
  - － フォルダ数が999を超えた場合(空フォルダ含む)

これらファイル数、フォルダ数の上限は、“ウォークマン”の階層構造の状態によって異なります。そのため、不要なフォルダやファイルは“ウォークマン”に保存しないでください。

## “ウォークマン”の充電について

本機の電源が入っているときは、“ウォークマン”をWM-PORTコネクタに挿し込むと、自動的に充電が始まります。充電の状況は“ウォークマン”に表示されます。詳しくは、“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。

### “ウォークマン”の充電に関するご注意

- 次のケースでは、“ウォークマン”は充電されません。
  - － 本機の電源を切っているとき
  - － パワーマネージメント機能がオフの状態(41ページ)、チューナーファンクション([TUNER FM]または[TUNER AM])を選択しているとき

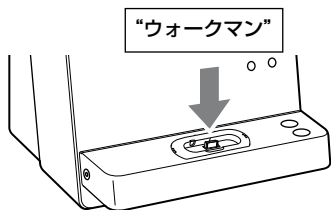
# “ウォークマン”に 録音する

CD-DAディスクまたはMP3ディスクの曲を、“ウォークマン”へ録音することができます。

“ウォークマン”へは、MP3形式(128kbps)で録音されます。録音に必要な“ウォークマン”の空き容量は、CD-DAディスクから録音する場合、1分あたり約1MBが目安となります。MP3ディスクから録音する場合には、より多くの空き容量が必要となることがあります。

本機の録音モードには、ディスクの全曲をまとめて“ウォークマン”へ録音する「CD SYNCモード」、再生中の曲を“ウォークマン”へ録音する「REC1モード」の2種類があります。

- 1 “ウォークマン”を本体のWM-PORTコネクタに接続する。



- 2 FUNCTION +/- ボタンを繰り返し押し、CDファンクションを選ぶ。
- 3 ディスクをディスクスロットにセットする。

- 4 REC CD → WALKMAN ボタンを押す。

「REC」が点滅し、表示窓のメッセージが以下のとおり切り換わり、“ウォークマン”が録音待機状態となります。

「WALKMAN REC」→「CD SYNC」  
→「FREE -----」→  
「PUSH ENTER」

\* “ウォークマン”の空き容量がギガバイト(例:「FREE 6G」)またはメガバイト(例:「FREE 70M」)単位で表示されます。空き容量の算出が終わるまでは、「FREE -----」の表示となります。お使いの“ウォークマン”の状態によって、空き容量の算出しばらく時間がかかることがあります。

- 5 ⊕ ボタン(本体ではENTER ボタン)を押す。

録音が始まります。

録音が完了すると、“ウォークマン”へのアクセスおよびディスクの再生が自動的に停止します。

## 録音を途中で止めるには

■ ボタン(本体ではロボタン)を押します。

## 再生中の曲を録音するには (REC1モード)

録音したい曲の再生を開始して、本体のREC CD → WALKMAN ボタンを押します。

「REC」が点滅し、表示窓のメッセージが以下のとおり切り換わったら、⊕ ボタン(本体ではENTER ボタン)を押し、録音を始めてください。

「FREE -----」→「REC1」→  
「PUSH ENTER」


録音が完了すると、“ウォークマン”へのアクセスが自動的に停止します。ディスクの再生は継続します。



## お好みの曲だけを録音するには

プログラム登録した曲のみを“ウォークマン”に録音することができます。録音前にお好みの曲をプログラムしてください(29ページ)。

## MP3ディスクの特定のフォルダを録音対象にするには

MP3ディスクの特定のフォルダを録音対象にしたいときは、録音前にPLAY MODEボタンで再生モードをフォルダモード(点灯)にしておき、 +/- ボタンを繰り返し押しして該当のフォルダを選び、REC CD → WALKMANボタンを押してください。

## “ウォークマン”の曲を削除するには

お使いの“ウォークマン”によっては、本機での曲やフォルダの削除ができません。そのため、“ウォークマン”の曲やフォルダの削除は、パソコン上での削除をおすすめします。詳しくは、“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。

本機での削除に対応する機種をお使いの場合には、以下の「録音した曲を削除するには」の手順でも、曲やフォルダを削除することができます。




## 録音した曲を削除するには










録音した曲やフォルダを削除することができます。


- 1 “ウォークマン”を本体のWM-PORTコネクタに接続する。

- 2 FUNCTION +/- ボタンを繰り返し押し、ウォークマンファンクションを選ぶ。

- 3 TOOL MENUボタン(本体ではERASEボタン)を押す。  
「CHECKING」のメッセージ点滅後、「PLEASE SELECT」のメッセージが表示されます。


- 4   ボタン(本体では +/- ボタン)を繰り返し押し、削除したい曲またはフォルダを選ぶ。  
曲またはフォルダの名前と「PLEASE SELECT」のメッセージが交互に表示され、削除対象の選択状態となります。削除したい曲またはフォルダを変更したいときは、選び直してください。  
「PLEASE SELECT」のメッセージは、手順5へ進むまで15秒間隔で表示されます。

- 5  ボタン(本体では ボタン)を押して、削除対象の曲またはフォルダの選択が正しいか確認する。  
選択した曲(フォルダを選択した場合は一曲目)が再生されます。  
再生中は、  ボタン(本体では +/- ボタン)、 ボタン(本体では ボタン)での操作が可能です。選択が間違っているときは、 ボタン(本体では ボタン)を押して再生を停止し、曲またはフォルダを選び直してください。

次のページにつづく 

## 6 ⊕ボタン(本体ではENTERボタン)を押す。


「TRACK ERASE」または「FOLDER ERASE」の確認メッセージが表示されます。

現在削除対象となっている曲やフォルダを確認したい、または削除対象を変更したいときは、 RETURNボタンを押してください。削除対象の選択状態の表示に戻ります。



削除を中止したいときは、TOOL MENUボタン(本体ではERASEボタン)を押してください。

## 7 ⊕ボタン(本体ではENTERボタン)を押す。

選択した曲またはフォルダが削除されます。

引き続き曲やフォルダを削除したいときは、手順4～7を繰り返します。削除を終了するときは、 RETURNボタンまたはTOOL MENUボタン(本体ではERASEボタン)を押してください。

### ちょっと一言

- 手順3～5の操作中に RETURNボタンを押すと、操作を中断して削除を途中で止めることができます。
- 削除対象として曲またはフォルダを選択した後も、削除実行前であれば、 ボタン(本体ではロボタン)を押すことで、いつでも削除対象の未選択状態(「PLEASE SELECT」のみの表示状態)に戻すことができます。

## フォルダ名、ファイル名の自動命名機能について

“ウォークマン”へ録音すると、以下の命名ルールに従って“ウォークマン”の「MUSIC」フォルダ内にフォルダとMP3ファイルが生成されます。

### CD SYNCモード時<sup>1)</sup>

音源	フォルダ名	ファイル名
MP3	音源と同じ <sup>2)</sup>	
CD-DA	“CDDA001” <sup>3)</sup>	“TRACK001” <sup>4)</sup>

### REC1モード時

音源	フォルダ名	ファイル名
MP3	“REC1” <sup>5)</sup>	音源と同じ <sup>2)</sup>
CD-DA		“TRACK001” <sup>4)</sup>

<sup>1)</sup> プログラム再生モードを使って録音したときは、フォルダ名は「PGM\_xxx」となります。ファイル名は、音源(CD-DAディスクまたはMP3ディスク)によって異なります。

<sup>2)</sup> 音源の名前の先頭から最大64文字までが、フォルダ名またはファイル名となります。

<sup>3)</sup> フォルダ番号が連番で割り振られます(最大999 (「ROOT」フォルダおよび「MUSIC」フォルダ含む))。

<sup>4)</sup> ファイル番号が連番で割り振られます。

<sup>5)</sup> 最初にREC1モードで録音を実行したときに「REC1」フォルダが生成されます。以後、REC1モードで録音を行うと、常にこの「REC1」フォルダ内に録音した曲が保存されます。

## ご注意

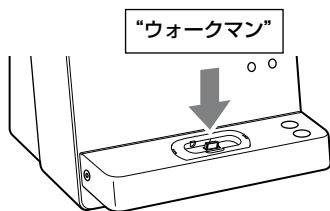
- 「NO SUPPORT」と表示されたときは、お使いの“ウォークマン”は本機での録音、本機での曲の削除に対応していません。
- “ウォークマン”がデータベースの更新中のときは、更新が終わるまで本機に接続しないでください。
- CD-DAディスクが音源のときは、録音した曲はMP3形式(ビットレートは128kbps)に変換されます。MP3ディスクが音源のときは、録音後のフォーマットもMP3形式となります(ビットレートも音源と同じ)。
- CD-SYNCモードでの録音時は、シャッフル再生またはリピート再生モードは自動的に解除され、ノーマル再生モードとなります。プログラム再生モードも、曲の登録がないときは解除されノーマル再生モードとなります。
- MP3ディスクからの録音中は、高速録音モード(「HI-SPEED」表示)となり、音は聞けません。
- CD-TEXT情報を持つCD-DAトラックが音源の場合、録音後のMP3ファイルにCD-TEXT情報は含まれません。
- 録音を途中で止めると、曲の途中まで録音された不完全なMP3ファイルが生成されます。
- 次のような条件下では、録音は自動的に停止します。
  - 録音中に“ウォークマン”の空き容量がなくなった。
  - “ウォークマン”に録音できる曲数が本機の仕様の上限に達した。
- 録音時に“ウォークマン”に同名のフォルダやファイルが存在するときは、生成時のフォルダまたはファイルの名前の最後に、連番が追加されます。このため、もともとあったフォルダやファイルが上書きされることはありません。

## “ウォークマン”の曲を聞く

別売りの“ウォークマン”を本機と接続することで、“ウォークマン”の音楽や音声データを聞くことができます。

- 1 FUNCTION +/- ボタンを繰り返し押し、ウォークマンファンクションを選ぶ。
- 2 “ウォークマン”を本体のWM-PORTコネクタに接続する。

“ウォークマン”を接続する前に、“ウォークマン”のホームメニューで「ミュージック」や「ポッドキャスト」など、ライブラリが選択されているか確認してください。



- 3 ▶ ボタン(本体では▶⏮ボタン)を押して、再生を開始する。

次のページにつづく ➤

## その他の操作

本体またはリモコンのボタンを使って以下の操作ができます。

こんなときは	操作
一時停止する	■ボタン(本体では▷⏸ボタン)を押す。
再生を止める	■ボタン(本体では□ボタン)を押す。
フォルダをスキップする <sup>*</sup>	◆/▼ボタンを押す。
曲を選ぶ、オーディオブックやポッドキャストデータのチャプターを選ぶ	◀◀/▶▶ボタン(本体では◀◀/▶▶ボタン)を押す。ボタンの長押しで早戻し/早送りができます。
曲中の聞きたい部分を探す、オーディオブックやポッドキャストデータの聞きたい部分を探す	再生中に◀◀/▶▶ボタンを押し続け、聞きたいところで指を離す。

\* フォルダのスキップができないときは、“ウォークマン”のサーチメニューの検索方法を「アーティスト」または「アルバム」にしてください。

## ご注意

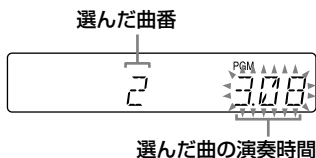
- “ウォークマン”を抜き挿しするときは、WM-PORTコネクターの角度に沿ってまっすぐ抜き挿ししてください。また、WM-PORTコネクターが破損するおそれがあるため、“ウォークマン”をひねったり、反らせないようにご注意ください。
- “ウォークマン”を接続したままの状態では、本機を移動しないでください。故障の原因となることがあります。
- “ウォークマン”を抜き挿しするときは、本機をしっかり手で押さえ、“ウォークマン”の操作ボタンを誤って押さないようにご注意ください。
- 本機のWM-PORTコネクターは、“ウォークマン”専用です。他社製のポータブルオーディオプレーヤーを接続しないでください。
- Bluetooth機能付きの“ウォークマン”は、Bluetooth機能を解除してからお使いください。
- 音が出ないなどの問題が発生した場合は、本機から“ウォークマン”を取りはずし、接続し直してください。
- “ウォークマン”を本機で使用しているときは、“ウォークマン”のヘッドホン端子には音声は出力されません。
- FMチューナーやワンセグチューナー搭載の“ウォークマン”を本機で使用すると、放送が受信できなかったり、感度が低下することがあります。
- 音量は、リモコンまたは本体のVOLUME +/- ボタンを使って調節してください。“ウォークマン”側で音量を調節しても、音量は変わりません。
- “ウォークマン”を取りはずすときは、再生を停止してから取りはずしてください。
- 本機は“ウォークマン”の動作のすべてを保証するものではありません。

## 好きな順に 曲を聞く

(プログラム再生)

リモコンのボタンを使ってプログラム登録をします。

- 1 FUNCTION +/- ボタンを繰り返し押し、CDファンクションを選ぶ。
- 2 停止中にPLAY MODEボタンを繰り返し押しして「PGM」を点灯させ、プログラム再生モードを選ぶ。
- 3 ◀◀/▶▶ ボタンを繰り返し押しして、プログラムしたい曲を選ぶ。  
MP3ディスクの特定のフォルダ(アルバム)内のMP3ファイルをプログラムに登録するときは、📁 +/- ボタンでフォルダを選び、曲を選んでください。



- 4 ⊕ ボタンを押す。  
選んだ曲がプログラムされます。プログラムした曲の総演奏時間が100分を超える場合や、MP3ファイルプログラムした場合には「- - -」と表示されます。

- 5 手順3、4を繰り返してプログラムする。最大25曲までプログラムできます。

- 6 ▶ ボタンを押す。  
プログラム再生が始まります。登録したプログラムは、ディスクを取り出さない限り保持されます。プログラム再生後、同じプログラムを再生するには、▶ ボタンを押ししてください。

### プログラム再生を中止するには

停止中に、「PGM」が消えるまでPLAY MODEボタンを繰り返し押しします。

### プログラムを消すには

停止中に、CLEARボタンを押します。ボタンを押すたびに、最後にプログラム登録した曲から消えます。

### プログラムの情報を確認するには

再生停止中にDISPLAYボタンを繰り返し押しします。プログラムの登録曲数など、プログラムの情報が確認できます。

## 外部機器を 接続して聞く

- 1 別売りの外部機器をAUDIO IN端子(外部入力端子)に接続する。

別売りのオーディオ接続コードを使って、外部機器のオーディオ出力端子に接続します。

- 2 VOLUME -ボタンを押して、音量レベルを下げる。
- 3 FUNCTION +/-ボタンを繰り返し押し、AUDIO INファンクションを選ぶ。
- 4 外部機器の再生を始める。  
再生が始まったら、外部機器側の音量を調節してください。
- 5 VOLUME +/-ボタンを押して、音量を調節する。

## 好みの音に変える

---

### こんなときは 操作

---

低音を強調する 本体のDSGXボタンを押す。

サウンド効果を選ぶ EQボタンを繰り返し押し。

---

# 画面の表示を切り換える

## こんなときは 操作

画面で情報を見る<sup>1)</sup> 電源「入」時に、DISPLAYボタンを繰り返し押し。

電源「切」時に時計を表示する 電源「切」時<sup>2)</sup>に、DISPLAYボタンを押す。約8秒間時計が表示されます。

<sup>1)</sup> CDやMP3ディスクの次のような情報を見ることができます。

- 曲番(ノーマル再生モードでの再生中)
- 曲名(「🎵」)(ノーマル再生モードでの再生中)
- アーティスト名(「👤」)(ノーマル再生モードでの再生中)
- アルバム名、フォルダ名(「📁」)(ノーマル再生モードでの再生中)
- 総演奏時間(再生停止中)

<sup>2)</sup> 電源が切れている状態のときは、STANDBYランプが点灯します。

## 表示に関するご注意

- 本機で表示できない文字があった場合、アンダースコア( )に置き換えて表示されます。
- 以下の情報は表示されません。
  - MP3ディスクの総演奏時間および残り時間
  - 曲(MP3ファイル)の残り時間
- 以下の情報は正しく表示されないことがあります。
  - VBR (Variable Bit Rate)の設定でエンコードされたMP3ファイルの再生経過時間

- ISO9660 Level 1/Level 2またはJolietの拡張フォーマットの命名規則に準拠していないフォルダ名、ファイル名

- 以下の情報は表示されます。
  - CD-DAディスクの総演奏時間(ノーマル再生モードでの再生中)
  - 曲(CD-DAトラック)の残り時間
  - CD-DAディスクの残り時間(ノーマル再生モードでの再生中)
  - MP3ファイルのID3タグの情報。ID3のバージョン1とバージョン2のタグが混在して使われている場合は、バージョン2のタグ情報が優先的に表示されます。
  - ID3タグの先頭から15文字。表示可能な文字の種類は、大文字(A～Z)、数字(0～9)、記号(" \$ % ' ( ) \* , - . / < = > @ [ \ ] \_ ` { | } ! ? ^ )です。

# タイマーを使う

本機のタイマー機能には、スリープタイマー、再生タイマーの2種類があります。

再生タイマーが動いているときにスリープタイマーを使うと、スリープタイマーが優先されます。

タイマーの設定は、リモコンのボタンで行います。

## スリープタイマー

指定した時間が経過すると、自動的に本機の電源が切れます。スリープタイマーは、本機の時計を合わせていない状態でも使用できます。

### SLEEPボタンを繰り返し押す。

「AUTO」を選ぶと、100分経過後に自動的に本機の電源が切れます。指定した時間よりも前にディスクの再生が終了した場合は、その時点で自動的に電源が切れます。

## 再生タイマー

指定した時刻に自動的に音源をスタートさせ、音楽やラジオを聞くことができます。

設定の前に、本機の時計を合わせてください。

## 1 音源を準備する。

音源を準備し、VOLUME +/- ボタンを押して音量を調節します。音源として指定できるのは、ディスクまたはラジオ局です。

ディスクの好きな曲だけを再生したいときは、プログラム登録をしてください。詳しくは、「好きな順に曲を聞く」(29ページ)をご覧ください。

ラジオ局を音源にするときは、オートチューニング、マニュアルチューニング、登録済みのプリセットからの選択のいずれかの方法で、お好みのラジオ局に周波数を合わせてください(22ページ)。

## 2 TIMER MENUボタンを押して、再生タイマーの設定を開始する。

## 3 +/-ボタンを繰り返し押し「PLAY SET」を選び、+ボタンを押す。

「ON TIME」の表示に続き、開始時刻の時間が点滅します。

## 4 開始時刻を設定する。

+/-ボタンを繰り返し押しして「時」を設定し、+ボタンを押します。分表示が点滅したら、同様に「分」を設定します。

「分」の設定が終わると、「OFF TIME」の表示とともに終了時刻の設定に切り換わります。

## 5 手順4と同様の手順で終了時刻を設定する。

## 6 音源を選ぶ。

+/-ボタンを繰り返し押しして音源を選び、+ボタンを押します。音源の設定が終わると、再生タイマーの設定確認が表示されます。

## 7 I/Oボタンを押して、電源を切る。

タイマー開始時刻の約15秒前に自動的に電源が入ります。開始時刻に電源が入っていると、再生タイマーは動きません。電源が入り音源の再生が始まるまで、本機の操作はしないでください。



## 再生タイマーの設定を確認するには

- 1 TIMER MENUボタンを押す。  
「SELECT」が点滅します。
- 2 ⊕ボタンを押す。
- 3 ▲/▼ボタンを繰り返し押し、  
「PLAY SEL」を選ぶ。
- 4 ⊕ボタンを押す。

## 再生タイマーを中止するには

- 1 TIMER MENUボタンを押す。  
「SELECT」が点滅します。
- 2 ⊕ボタンを押す。
- 3 ▲/▼ボタンを繰り返し押し、  
「OFF」を選ぶ。
- 4 ⊕ボタンを押す。

## 設定を変更するには

再生タイマーの設定をやり直してください。

### ご注意

再生タイマーの音源に「TUNER」(ラジオ)を選択した場合、ラジオ局の周波数やバンド(FM/AM)は再生タイマー設定時のチューニングに固定されます。設定後に周波数やバンドを変更しても、再生タイマーには反映されません。

### ちょっと一言

手動で中止しないかぎり、再生タイマーの設定は保持されます。

## 使用上のご注意・ 主な仕様

### 使用上のご注意

#### 再生できるディスク

- 音楽用CD
- CD-R/CD-RW (CD-DAトラック  
またはMP3ファイルの音楽データ)

#### 再生できないディスク

- CD-ROM
- 音楽CDの規格に準拠していない  
形式で記録されたCD-Rおよび  
CD-RWディスク、ISO9660 Level  
1/Level 2またはJolietのフォー  
マットに準拠しないCD-Rおよび  
CD-RWディスク
- マルチセッション方式で記録して、  
セッションクローズ処理をしてい  
ないCD-RおよびCD-RWディスク
- 記録品質の悪いCD-Rおよび  
CD-RWディスク、傷、汚れのある  
CD-RおよびCD-RWディスク、互  
換性のないレコーダーで記録した  
CD-RおよびCD-RWディスク
- 書き込み用ソフトウェアやレコー  
ダーによる「ファイナライズ処理」  
が正常に終了していないCD-Rおよ  
びCD-RWディスク
- MP3形式(MPEG 1 Audio  
Layer-3)以外のフォーマットの  
オーディオファイルが記録された  
CD-RおよびCD-RWディスク
- 円形以外の特殊な形状(カード型、  
ハート型、星型など)をしたディスク

- 紙やシールの貼られたディスク
- 中古ディスクやレンタルディス  
クで、セロハンテープやレンタル  
ディスクのラベルなどの接着剤が  
はみ出したり、はがしたあとの  
あるディスク
- 盤面印刷で作成したラベルの  
インクが乾いていないディスク

#### CDの取り扱いかた

- ふだんのお手入れは、柔らかい  
布でディスクの中心から外の  
方向へ軽く拭きます。汚れが  
ひどいときは、少し湿らせた  
布で拭いたあと、乾いた布で  
水気を拭き取ってください。  
ベンジンやレコードクリーナー、  
静電気防止剤などは使わない  
でください。
- 直射日光が当たる場所、車や  
トランクの中など、高温にな  
るところには置かないでくだ  
さい。
- 市販のCDレンズ用クリーニング  
ディスクは、本機では使わない  
でください。故障するおそれ  
があります。

#### 設置時のご注意

- ぐらついた台の上や不安定な  
場所、振動する場所、ほこり  
の多い所、直射日光が当たる  
場所、湿度が高い所、湿気  
の多い所、風通しの悪い場  
所、極端に寒い所などには、  
本機を設置しないでくだ  
さい。
- 特殊な塗装、ワックス、油脂、  
溶剤などが塗られている場  
所に、本機およびスピーカー  
を設置すると、変色、染み  
などが残ることがあります。

- 部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります(結露)。正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることがあるので、本機を使わないときは、ディスクを取り出してください。結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約30分放置し、再び電源を入れ直してください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口にご相談ください。

### 使用時の放熱について

- 使用中、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。
- 大音量で鳴らし続けると、本体キャビネットの天板や側面、底面、通風孔はかなり熱くなります。このようなときは、火傷などのけがの原因となるため、キャビネットなどに触れないでください。
- 温度上昇による故障の原因となるため、通風孔をふさがないでください。

### テレビの色むらについて

本機のスピーカーは防磁型ではありません。そのため、本機のスピーカーをテレビのそばで使うと、テレビ画面に色むらが起こります。テレビから離してお使いください。色むらが起きたら、いったんテレビの電源を切り、15～30分後に再び電源を入れてください。それでも色むらが残る場合は、スピーカーをさらにテレビから離してください。

### お手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めるので、使わないでください。

# 故障かな？と思ったら

本機を使用中にトラブルが発生した場合は、ソニーの相談窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れに従ってチェックしてください。メッセージ一覧(42ページ)も合わせてご覧ください。メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

## 手順1 本書で調べる

この「故障かな？と思ったら」をチェックし、該当する項目を調べる。  
本書の手順の中にも、様々な情報があります。該当する項目を調べてください。

## 手順2 「サポート・お問い合わせ」のホームページで調べる

<http://www.sony.jp/netjuke-support/>で調べる。  
最新のサポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を掲載しています。

## 手順3 それでもトラブルが解決しないときは

ソニーの相談窓口(裏表紙)またはお買い上げ店にご相談ください。

**ご相談になるときは次のことをお知らせください。**

- 型名：CMT-V3
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 故障したときに再生していた音源(ディスクや“ウォークマン”など)：
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

### STANDBYランプ(電源ランプ)が点滅しているときは

電源コードをコンセントから抜いて以下の項目を確認してください。

- 付属のスピーカーを使っていますか？
- 本機の通風孔をふさいでいませんか？
- WM-PORTコネクタがショートしていませんか？
- 交流100V以外のコンセントに接続していませんか？

異常がなければ、STANDBYランプが消灯したことを確認してから、再度電源コードをコンセントにつないでください。STANDBYランプが点滅しなければ、そのままお使いいただけます。STANDBYランプが点滅したままの場合は、ソニーの相談窓口(裏表紙)またはお買い上げ店にご相談ください。

## 共通

### 電源が入らない。

- 電源コードがコンセントにしっかり差し込まれていますか？

### 音が出ない。

- スピーカーコードを正しく接続していますか？
- 付属のスピーカーを使っていますか？
- 風通しの悪い場所に本機を設置したり、本機の通風孔をふさいでいませんか？

### 電源コードをコンセントから抜いても、STANDBYランプが消えない。

- 電源コードを抜いてもSTANDBYランプがしばらく消えない場合がありますが、故障ではありません。40秒前後でSTANDBYランプは消灯します。

### 左右の音のバランスが悪い、または逆転している。


- スピーカーをできるだけ左右対称の位置に設置してください。
- 付属のスピーカーを接続してください。

### ブーンという音をする、ノイズがひどい。

- テレビやビデオなどのノイズの原因になりやすい機器から本機を離して設置してください。
- 電源コードを別のコンセントに接続してみてください。
- 別売りのノイズフィルターの電源コードへの装着をおすすめします。ノイズが低減できる場合があります。

### リモコンで操作できない。

- リモコンと本体の間の障害物を取り除き、本体を蛍光灯から離して設置してください。
- リモコンを本体のリモコン受光部に向けてください。
- リモコンを本体に近づけて操作してください。

次のページにつづく 

## CD/MP3ディスク

### 音飛びする、再生が始まらない。

- ディスクが汚れている、またはディスクに傷がついている。汚れの場合は、拭き取ってください。
- 振動のない場所(安定した台の上など)に本機を設置してください。
- スピーカーを本機から離したり、設置位置を変えてみてください。音量によっては、スピーカーの振動が音飛びの原因となることがあります。

### 再生が1曲目から始まらない。

- シャッフル再生、またはプログラム再生になっていないか確認してください。停止中にPLAY MODEボタンを繰り返し押すと、表示窓の「PGM」または「SHUF」が消え、ノーマル再生に戻すことができます。

### 再生が始まるまでに時間がかかる。

- 次のような場合、ディスクの再生が始まるまでにしばらく時間がかかることがあります。
  - ディスク上のファイル構造が極端に複雑になっている。
  - マルチセッション形式で記録したディスク
  - 「ファイナライズ処理」が行われていないディスク(書き込み済みのCD-RやCD-RWで、さらに書き込みが可能な状態のディスク)
  - フォルダ数が多いディスク

### 「LOCKED」が表示され、ディスクがイジェクトされない。

- お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

## “ウォークマン”

### “ウォークマン”が充電されない。

- 本機の電源を切っているときは、“ウォークマン”は充電されません。
- パワーマネージメント機能をオンにするか(41ページ)、チューナーファンクション(「TUNER FM」または「TUNER AM」)以外のファンクションに切り換えてください。

### “ウォークマン”に録音できない

- 「NO SUPPORT」と表示されるときは、お使いの“ウォークマン”が本機での録音に対応していません。

### 録音が始まらない。

- 次のような原因が考えられます。
  - “ウォークマン”に空き容量がない。
  - 録音可能なファイルやフォルダ数が上限に達している。
  - “ウォークマン”が書き込み禁止状態になっている。

### 録音が完了前に停止してしまう。

- 対応機種以外の“ウォークマン”を使っている。下記ホームページの機種別サポートで対応機種を確認してください。  
<http://www.sony.co.jp/netjuke-support/>
- “ウォークマン”が正しくフォーマットされていない。フォーマットのしかたについては、“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。
- 本機の電源を切り、いったん“ウォークマン”をはずして再度接続し、“ウォークマン”が正常に本機に認識されているか確認して、録音をやり直してください。“ウォークマン”が本機に正常に認識されない

場合は、“ウォークマン”の電源を入れ直してから本機に接続し、認識されるか確認してください。


### 録音に失敗する。

- 対応機種以外の“ウォークマン”を使っている。下記ホームページの機種別サポートで対応機種を確認してください。  
<http://www.sony.co.jp/netjuke-support/>
- 本機の電源を切り、いったん“ウォークマン”をはずして再度接続し、“ウォークマン”が正常に本機に認識されているか確認して、録音をやり直してください。“ウォークマン”が本機に正常に認識されない場合は、“ウォークマン”の電源を入れ直してから本機に接続し、認識されるか確認してください。
- 録音中に、本機から“ウォークマン”をはずした、または“ウォークマン”の電源を「切」にした。録音中にこのような操作を行うと、曲の途中で録音された不完全なMP3ファイルが“ウォークマン”に残ってしまいます。不完全に録音されたMP3ファイルを“ウォークマン”から削除し(25ページ)、録音をやり直してください。問題解決にあたっては、“ウォークマン”の取扱説明書も合わせてご覧ください。それでも問題が解決しない場合は、“ウォークマン”の故障の可能性があります。お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。
- “ウォークマン”への録音や消去を多く繰り返すと、“ウォークマン”内部のファイル構造の断片化によって、録音動作に必要な連続した空き容量が確保できなくなり、録音に失

敗することがあります。このような場合には、“ウォークマン”の不要データを削除するなどして空き容量を確保してください。詳しくは、“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。それでも問題が解決しない場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。

### “ウォークマン”からファイルやフォルダを削除できない。

- 「NO SUPPORT」と表示されるときは、お使いの“ウォークマン”が本機での削除に対応していません。パソコン上で削除してください。詳しくは、“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。
- “ウォークマン”が書き込み禁止状態になっていないか確認してください。
- 削除中に、本機から“ウォークマン”をはずした、または“ウォークマン”の電源を「切」にした。削除中にこのような操作を行うと、正常に削除が行われません。削除をやり直してください。問題解決にあたっては、“ウォークマン”の取扱説明書も合わせてご覧ください。それでも問題が解決しない場合は、“ウォークマン”の故障の可能性があります。お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。
- 対応機種以外の“ウォークマン”を使っている。下記ホームページの機種別サポートで対応機種を確認してください。  
<http://www.sony.co.jp/netjuke-support/>

次のページにつづく 

## “ウォークマン”が正常に動作しない。

- 対応機種以外の“ウォークマン”を使うと、次のような問題が発生するおそれがあります。下記ホームページの機種別サポートで対応機種を確認してください。  
<http://www.sony.co.jp/netjuke-support/>  
— “ウォークマン”が本機に認識されない。  
— 曲名やフォルダ名(アルバム名)が表示窓に表示されない。  
— 曲が再生されない。  
— 音飛びする。  
— ノイズが混じる。  
— 音が歪む。  
— 録音が途中で止まる。

## 音が出ない。

- “ウォークマン”が本機にしっかり挿し込まれていますか？  
本機の電源を切り、“ウォークマン”を接続し直してください。

## ノイズ・音飛びが発生する、音が歪む。

- 本機の電源を切り、“ウォークマン”を接続し直してください。
- 音源そのものにノイズや歪みがないか確認してください。ノイズは録音の過程で混入する場合があります。このようなときは、録音をやり直してください。
- 音量が大きすぎる。音量を下げ調節してください。
- “ウォークマン”のサウンドモードはノーマル(フラット)でお使いください。ノーマルモード以外の設定で本機で使用すると、音の歪みやノイズの原因となることがあります。

## 曲名やフォルダ名(アルバム名)が正しく表示されない。

- 録音・転送した音楽データが破損している可能性があります。本機で録音した場合は、録音をし直してください。パソコンを使って“ウォークマン”に曲を転送したデータについては、転送をやり直してください。パソコンからの曲の転送のしかたについては、“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。
- 本機で表示できる文字は、アルファベットと数字のみです。そのほかの文字については正常に表示されません。

## “ウォークマン”が認識されない。

- 本機の電源を切り、“ウォークマン”を接続し直し、再度本機の電源を入れてください。
- 対応機種以外の“ウォークマン”を使っている。下記ホームページの機種別サポートで対応機種を確認してください。  
<http://www.sony.co.jp/netjuke-support/>
- “ウォークマン”が正常に動作していない可能性があります。“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。問題が解決しない場合には、ソニーの相談窓口にご相談ください。

## 再生が始まらない。

- “ウォークマン”のホームメニューで「ミュージック」や「ポッドキャスト」など、ライブラリを選択してから本機に接続し、▶ボタン(本体では▷⏪ボタン)を押してください。
- 本機の電源を切り、“ウォークマン”を接続し直し、再度本機の電源を入れてください。



- 対応機種以外の“ウォークマン”を使っている。下記ホームページの機種別サポートで対応機種を確認してください。  
<http://www.sony.co.jp/netjuke-support/>
- 再生を開始しているか確認してください。開始していない場合は、▶ボタン(本体では▷⏮ボタン)を押して曲の再生を開始してください。

### 再生が1曲目から始まらない。

- “ウォークマン”の再生モードがシャッフルなどノーマル再生以外のモードにセットされていないか確認してください。“ウォークマン”の再生モードについては、“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。

## ラジオ

### 雑音が入る(「TUNED」や「ST」が点滅する)、または放送が受信できない。

- アンテナを正しく接続してください。
- 受信状態のよい場所や方向を探し、アンテナを設置し直してください。
- アンテナを本体やスピーカーコード、他のAV機器から離してください。
- 本機の近くにある電気器具の電源を切ってください。

### 複数の放送局が同時に聞こえる場合。

- アンテナの場所や方向を調整してアンテナを設置し直してください。
- アンテナを(コードクリップなどを使って)束ね、長さを調整してください。

## ディスク読み込み時のレスポンスを改善するには

本機は、必要に応じてCDプレーヤーへ通電するよう、お買い上げ時の状態では、CDプレーヤーへの給電を管理するパワーマネジメント機能がオフに設定されています。

パワーマネジメント機能をオンにすることで、再生を開始したときのディスク読み込みのレスポンスを改善することができます。

パワーマネジメント機能は、本体のボタンを使ってオンにします。

- 1 FUNCTION +/- ボタンを繰り返し押し、CDファンクションを選ぶ。
- 2 I/O ボタンを押して、電源を切る。
- 3 「STANDBY」の点滅が止まったら、DISPLAY ボタンを押して時計を表示させ、□ ボタンを押しながら I/O ボタンを押す。

「PWR MNG ON」が表示されます。パワーマネジメント機能をオンにすると、ディスク読み込み時のレスポンスが改善しますが、ラジオの受信感度が落ちることがあります。その場合には、パワーマネジメント機能をオフに戻してください。パワーマネジメント機能がオンの状態で手順1～3を行うと、「PWR MNG OFF」が表示され、パワーマネジメント機能がオフになります。

次のページにつづく ➤

## お買い上げ時の状態にリセットするには

「故障かな?と思ったら」の該当項目をチェックしても正常に動作しない場合は、次の手順で本機をお買い上げ時の状態にリセットしてください。本体のボタンを使ってリセットを行います。

- 1 電源コードをコンセントから抜き、再度接続して、電源を入れる。
- 2 ロボタンとENTERボタンを押しながら、I/⏻ボタンを押す。

ラジオ局のプリセット設定や時計、タイマーなどの設定が、お買い上げ時の状態に戻ります。リセットを行ってもまだ正常に動作しない場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。

## メッセージ一覧

本機の使用中に、次のようなメッセージが表示、または点滅することがあります。

### COMPLETE

- FM/AM局のプリセット登録が正常に完了した。
- “ウォークマン”の曲、フォルダの削除が完了した。

### DEVICE ERROR

“ウォークマン”が認識されていない(40ページ)、または対象機種以外のウォークマンを使っている。下記ホームページの機種別サポートで対応機種を確認してください。

<http://www.sony.co.jp/netjuke-support/>

### DEVICE FULL

“ウォークマン”に空き容量が少ないため、録音できない。

### ERASE ERROR

“ウォークマン”の曲やフォルダ(アルバム)の削除に失敗した。

### ERROR

- “ウォークマン”が本機に認識されていない(40ページ)、または対応機種以外の“ウォークマン”を使っている。下記ホームページの機種別サポートで対応機種を確認してください。  
<http://www.sony.co.jp/netjuke-support/>
- 再生時に“ウォークマン”に不測のエラーが発生した。

## FATAL ERROR

曲の録音中や削除中に“ウォークマン”を取りはずした。

## FOLDER FULL

録音できるフォルダ数(アルバム数)が上限に達した。

## FULL

プログラム登録中に26曲目を登録しようとした。

## LOCKED

ディスクがイジェクトされない。ソニーの相談窓口にご相談ください。

## NO DISC

ディスクが入っていない、または本機では再生できないディスクを挿入した。

## NO STEP

登録していたプログラムをすべて消去した。

## NO SUPPORT

お使いの“ウォークマン”が、本機での録音、本機での曲やフォルダの削除に対応していない。

## NO TRACK

“ウォークマン”に削除可能な曲(MP3ファイル)がない。

## NOT USED

- 使用できないボタンを押した。
- “ウォークマン”への録音時に、CDファンクションが選ばれていない。

## OVER

再生または一時停止中に▶▶ボタンを押し続け、ディスクの最後まで達した。

## PROTECTED

“ウォークマン”が書き込み禁止状態になっている。

## PUSH STOP

- 再生中にPLAY MODEボタンを押した。
- 停止中のみでできる操作を行おうとした。

## READING

ディスクの情報を読み込んでいる。このとき、いくつかのボタンは操作できなくなります。

## REC ERROR

録音を開始していない、録音が正常に行われていない(38、39ページ)。

## TIME NG

再生タイマーの設定で、開始時刻と終了時刻を同じに設定した。

## TRACK FULL

録音できる曲数が上限に達したため、録音できない。

## 表示例

表示窓の表示	表示内容
2	2 (ニ)
5	5 (ゴ)
6	6 (ロク)
8	8 (ハチ)
0	0 (ゼロ)
A	A
B	B
D	D
G	G
H	H
K	K
M	M
O	O
Q	Q
R	R
S	S
Z	Z
	! または
"	"
\$	\$
%	%
'	'
.	.
?	?
@	@
^	^

## 保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

### 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

### アフターサービス

#### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

#### それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口やお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

#### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

## 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

## 部品の保有期間について

当社ではマイクロハイファイコンポーネントシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

## 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

# 主な仕様

## 本体(HCD-V3)

### アンプ部

実用最大出力

5W+5W (4Ω、JEITA\*)

### 入・出力端子

外部入力端子(AUDIO IN)

ステレオミニジャック0.8V  
(22kΩ)

ヘッドホン端子(PHONES)

ステレオミニジャック8Ω以上

ウォークマン接続端子(WM-PORT)

WM-PORT搭載“ウォークマン”接続用、DC 5V、500mA

## CDプレーヤー部

形式

コンパクトディスクデジタルオーディオシステム

レーザーの仕様


放射時間：連続

レーザー出力\*：44.6μW未満

\*この出力値は、7mmの開口部にて光学ピックアップブロックの対物レンズ面より200mmの距離で測定したものです。

周波数特性

20Hz～20kHz

次のページにつづく 

## チューナー部

### 受信周波数

FM : 76.0 ~ 90.0MHz (100kHz  
ステップ)  
AM : 531 ~ 1,602kHz (9kHzス  
テップ)

### アンテナ端子

FMアンテナ、AMループアンテナ  
一体型

## スピーカー (SS-CLX20)

### 形式

フルレンジ/バスレフ型/  
80mmコーン型

### 定格インピーダンス

4Ω

### 最大外形寸法(幅×高さ×奥行き)

約130×221×135mm

### 質量

約0.7kg (1台)

## その他

### 電源

AC100V、50/60Hz

## 消費電力

21W (通常動作時(JEITA\*))

### 最大外形寸法(幅×高さ×奥行き、最大突起部含む、スピーカー除く)

約200×221×205mm

### 質量(スピーカー除く)

約2.2kg

### 付属品

リモートコマンダー (RM-AMU009ま  
たはRM-AMU011)(1) / 単三形(R6)  
乾電池(2) / FM・AMアンテナ(1) /  
"ウォークマン"用アタッチメント(2)  
/取扱説明書(本書)(1) /ソニーご相  
談窓口のご案内(1) /保証書(1) /ユ  
ーザー登録カード(1)

仕様および外観は、改良のため予告なく  
変更することがありますが、ご了承ください。

\* JEITA (電子情報技術産業協会)規格による測定値です。



省資源

- 包装材の個装カートンに再生紙を80%使用
- 製品重量60%削減(2007年度当社従来モデルCMT-M35WM比)
- 製品体積55%削減(2007年度当社従来モデルCMT-M35WM比)
- 包装体積41%削減(2007年度当社従来モデルCMT-M35WM比)



よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは  
ホームページをご活用ください。

<http://www.sony.co.jp/support>

#### 使い方相談窓口

フリーダイヤル……………0120-333-020  
携帯電話・PHS・一部のIP電話…0466-31-2511

#### 修理相談窓口

フリーダイヤル……………0120-222-330  
携帯電話・PHS・一部のIP電話…0466-31-2531  
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX (共通) 0120-333-389

左記番号へ接続後、  
最初のガイダンスが  
流れている間に

**「306」+「#」**

を押してください。  
直接、担当窓口へ  
おつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1